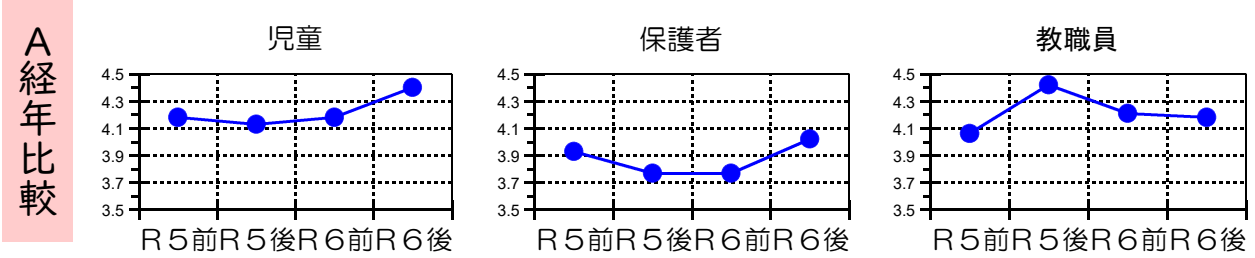


# 令和6年度【後期】学校評価アンケート結果

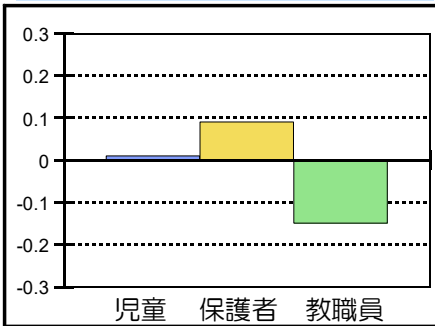
棒グラフは、児童・保護者・教職員それぞれの平均値と各項目の値を比較した数値  
 <グラフの赤枠は課題として捉えられる項目、青枠は成果として捉えられる項目>

## 「確かな学力の定着」に関する項目

### 1 学習理解や学習活動の充実



### B 各者総平均との比較

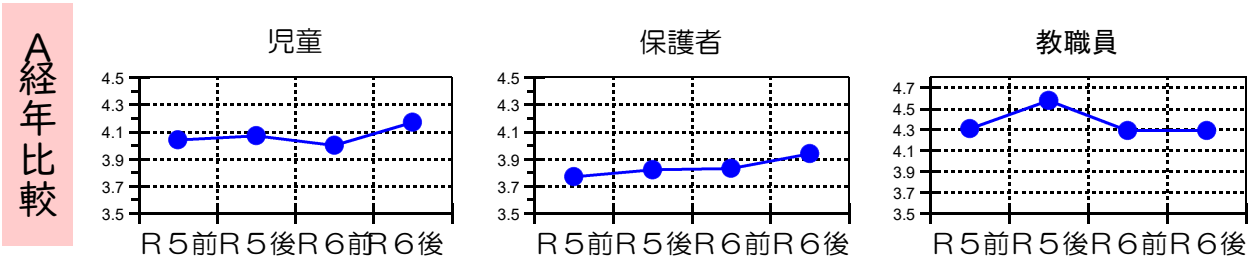


【児童】毎日の授業や勉強は、わかりやすく楽しい。  
 【保護者】おさんは授業がわかりやすく、楽しいと言っている。  
 【教職員】学び続ける教師として指導力向上及び研修の充実に努めている。

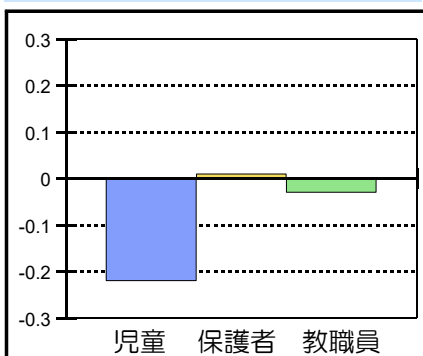
【傾向】A経年比は、児童と保護者が改善傾向にあり、教職員が、やや低下しました。B総平均比は**保護者の評価が高くなり**、教職員の評価が下がりました。

【対策】児童や保護者は、勉強や授業が楽しく、わかりやすいと感じています。引き続き、主体的・対話的で深い学びの実現や、個別最適な学びの充実に向けて、校内研修や授業改善に努めてまいります。また、教職員個々の強みを強化したり、持ち味を更に発揮できるよう、研鑽に努めてまいります。

### 2 基礎基本の定着



### B 各者総平均との比較

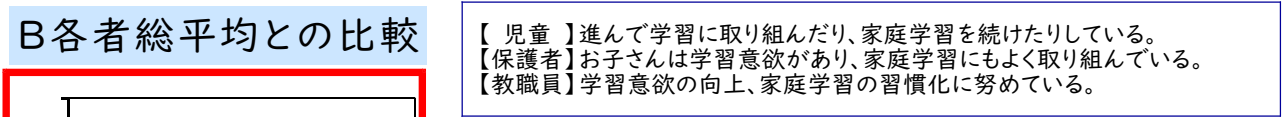
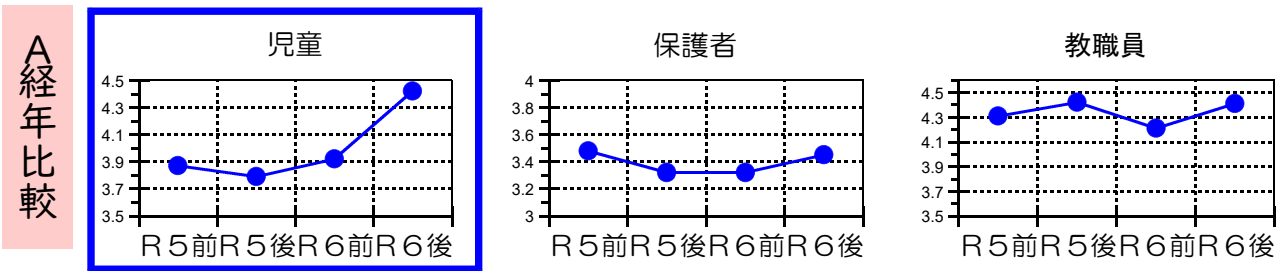


【児童】音読・漢字・計算が身につく、答えを説明できるようがんばっている。  
 【保護者】おさんは、読む・書く・漢字・計算が確実に身につけている。  
 【教職員】基礎・基本の確実な定着と自ら学び考え、深める力の育成に努めている。

【傾向】A経年比では、教職員が下げ止まりとなりました。児童と保護者は改善傾向にありますが全体的に低い傾向が見られます。B総平均では、**児童が低い傾向**にあります。

【課題】(B総平均の比較で) 児童の評価が低い。  
 【対策】わかりやすく、楽しい授業については一定の評価を受けています。児童が基礎基本が身に付いたと実感するためには、テストの結果やできた実感によるところが大きいことから、土台となる基礎基本の定着に向けて授業改善に努めます。また「ほめ言葉」を増やし、できている実感や、わかる実感をもてる関わりに重点をおいた指導に努めます。

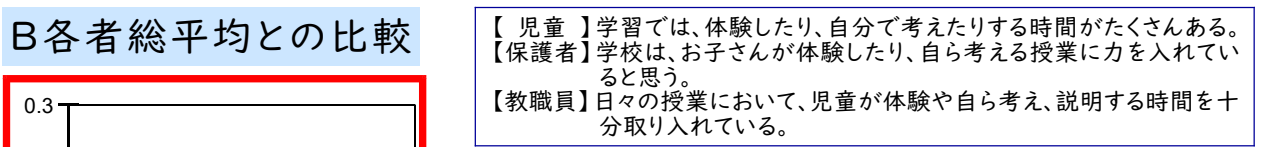
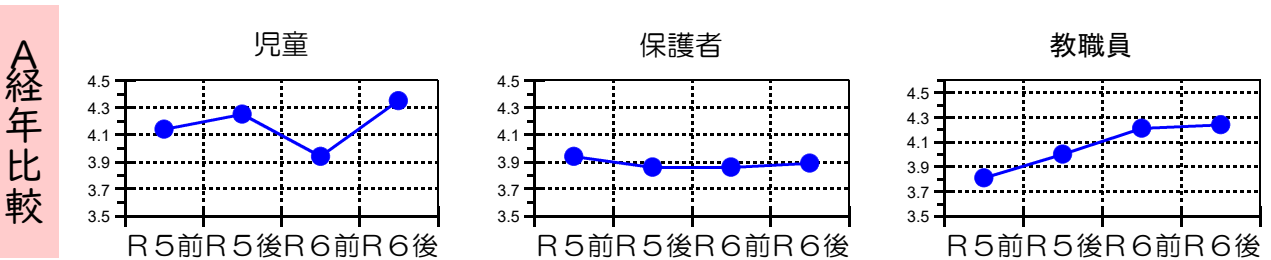
### 3 学習意欲と家庭学習



【児童】進んで学習に取り組んだり、家庭学習を続けたりしている。  
 【保護者】お子さんは学習意欲があり、家庭学習にもよく取り組んでいる。  
 【教職員】学習意欲の向上、家庭学習の習慣化に努めている。

【傾向】A経年比は、**児童に著しい改善傾向**が見られました。また、保護者も教職員も改善傾向にあります。しかし、**全体的に低い傾向**が見られ、B総平均比では、**保護者の評価が著しく低**くなっています(今回最大差)。  
 【課題】保護者の総平均比が今回のアンケートで最も低い数値です。  
 【対策】スマイルドリル等を活用し、宿題や家庭学習の充実を図っている一方で、ここ数年の全国学力・学習状況調査結果に表出しているように、家庭学習の習慣化に課題が見られます。各学級で家庭学習の習慣化に努める取組を進めていますが、学校全体で強化期間などを設けて、家庭と連携しながら、実効性のある取組を検討してまいります。

### 4 体験活動や考える活動の充実

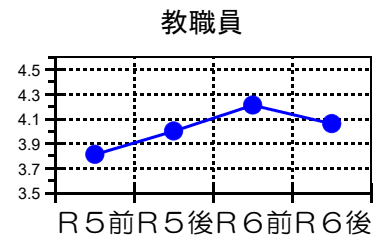
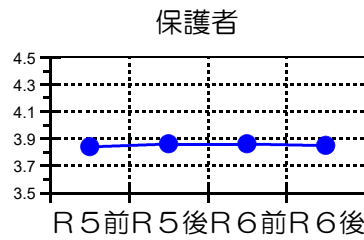
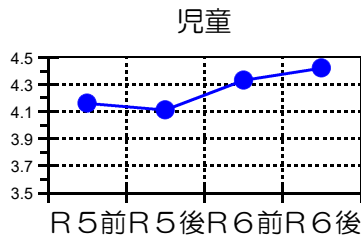


【児童】学習では、体験したり、自分で考えたりする時間がたくさんある。  
 【保護者】学校は、お子さんが体験したり、自ら考える授業に力を入れていると思う。  
 【教職員】日々の授業において、児童が体験や自ら考え、説明する時間を十分取り入れている。

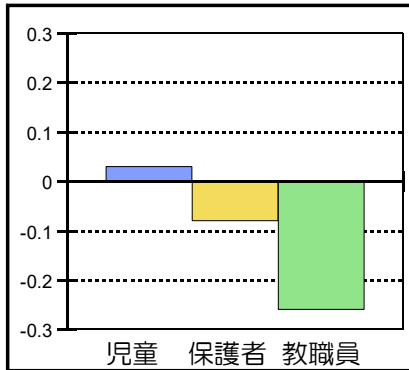
【傾向】A経年比は、**児童に大きな改善**が見られ、保護者と教職員は前期並みとなりました。確実に改善していますが、保護者と教職員の数値は高くはありません。  
 【対策】毎時間の授業の中で、自力解決や協働学習の時間を設定することで、子ども自身の実感がともない始めています。今後も「自分で考える時間(自力解決)」を計画的に授業の中に取り入れたり、「体験する学び」の充実を図ったり、日常的な実践の場で、子ども達の学びの充実に努めてまいります。

## 5 児童理解と個に応じた指導・支援

A  
経年  
比較



B  
各者総平均との比較



【児童】先生に質問しやすい、わかるまでいねいに教えてくれる。  
 【保護者】先生たちは、お子さんをよく理解し、個に応じた指導をしている。  
 【教職員】児童を理解し、よさを認め、やる気を引き出すなど個に応じた指導の充実に努めている。

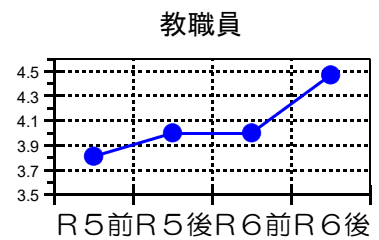
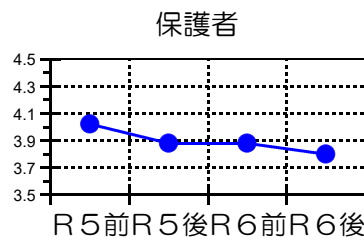
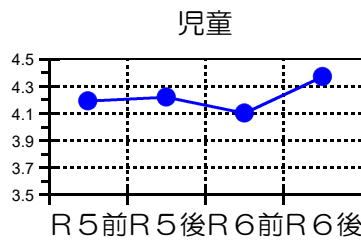
【傾向】A経年比は、児童が改善傾向にあり、教職員が課題を感じている傾向があります。保護者の数値は高くはありませんが、安定した結果が見られています。

【対策】特別支援教育や配慮を要する児童への対応も含めて、児童への対応について好評価を得ています。教職員については、B総平均比が低くなりましたが、引き続き、個に応じた支援や個に寄り添った支援の必要性や改善策を学校全体で検討、実践し、改善につなげてまいります。

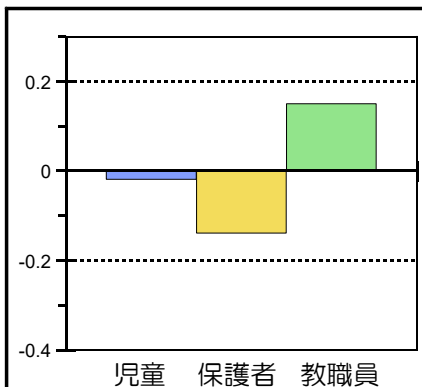
## 「豊かな心の育成」に関する項目

## 6 地域素材・人材の活用と特色ある教育活動

経年  
比較



各者総平均との比較

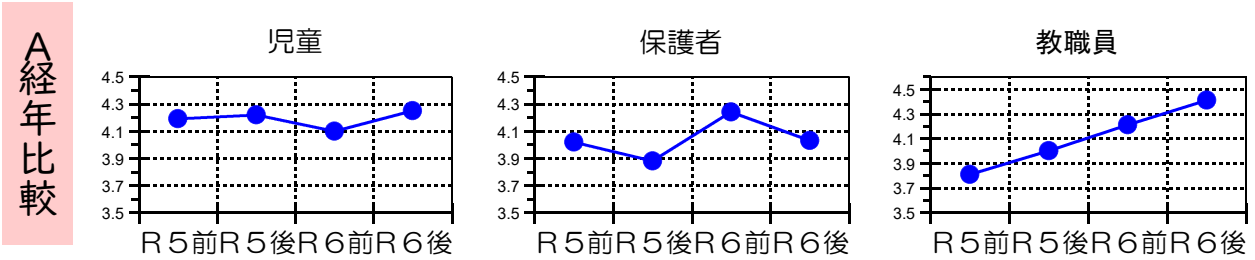


【児童】地域や自分の住んでいてる場所のことを学ぶことができる。  
 【保護者】学校は、地域の素材・人材・施設などを生かした特色ある教育活動をしている。  
 【教職員】学校は、地域の素材・人材・施設などを生かした特色ある教育活動をしている。

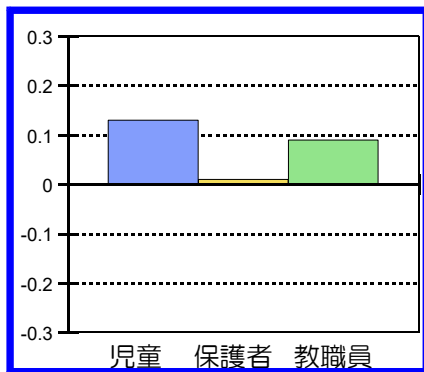
【傾向】A経年比は、児童と教職員の評価が高まりました。特に、**教職員の評価が大きく向上**しました。一方で、保護者の評価が右下がりの傾向にあります。

【対策】「おびひろ市民学」の出前講座等による地域素材・人材の活用の成果があらわれ始めています。学校の取組や特色ある教育活動を、保護者・地域にも広く周知し、保護者や地域住民も参観・参加できるような学習活動を積極的に増やしていく必要があると考えています。

## 7 情操を育む教育機会の充実



### B 各者総平均との比較

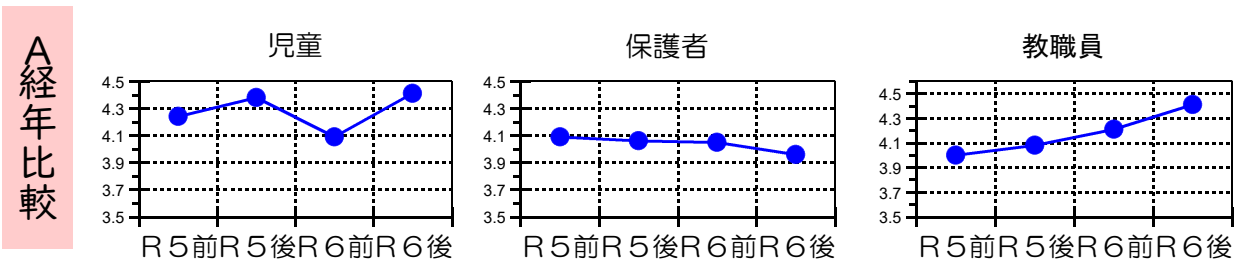


【児童】朝読書や合唱、花壇や農園・畑のお世話などの活動は楽しく、大切なものだと思う。  
 【保護者】学校は朝読書や合唱、花壇や農園活動など情操を育む教育機会を充実させている。  
 【教職員】朝読書や合唱、花壇や農園など情操を育む教育機会を充実させている。

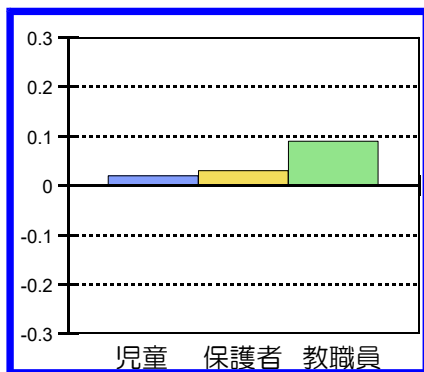
【傾向】A経年比は、**児童と教職員の評価が向上**しました。教職員については確実な改善傾向が見られる一方で、保護者は後期評価で下がる傾向が見られます。

【対策】情操を育む教育については、高評価と改善傾向が見られます。秋以降は花壇や農園の活動が減少することから、読書活動や合唱指導の充実を図りながら、情操を育む教育に努め、積極的に保護者へ発信していきます。

## 8 道徳教育の充実と豊かな心が育つ指導



### B 各者総平均との比較



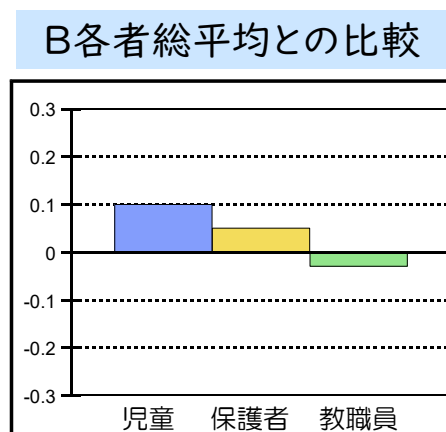
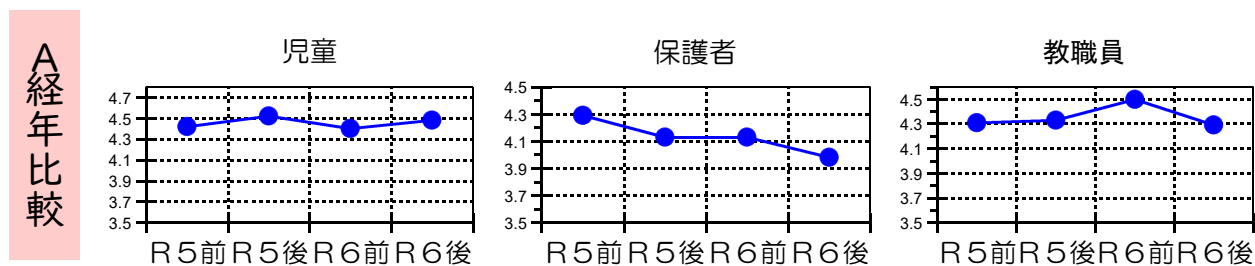
【児童】道徳の時間では、自分や友達のことについて考えたり話し合ったりしている。  
 【保護者】学校は道徳の時間等を通して、豊かな心が育つ指導がされている。  
 【教職員】特別の教科 道徳の実践を基に、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てている。

【傾向】A経年比は、**児童の数値が大きく改善し、教職員の改善傾向が継続**しています。B総平均比は保護者の数値はやや下がったものの、3者ともに高い傾向が見られました。

【対策】保護者の評価が僅かながら下降傾向にあります。参観日で「特別の教科 道徳の時間」の授業を見る機会を増やしたり、学級通信等で学習活動や児童の変容を積極的に伝え、豊かな心が育つ指導の浸透に努めてまいります。

# 「健やかな体の育成」に関する項目

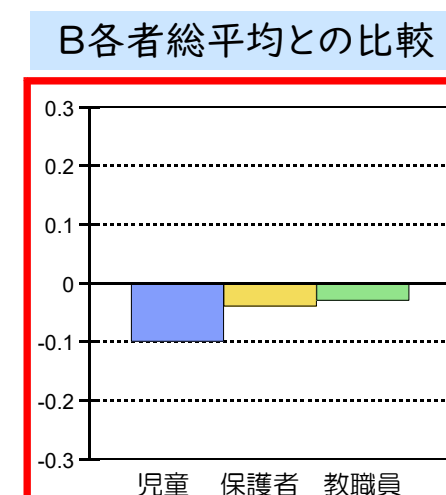
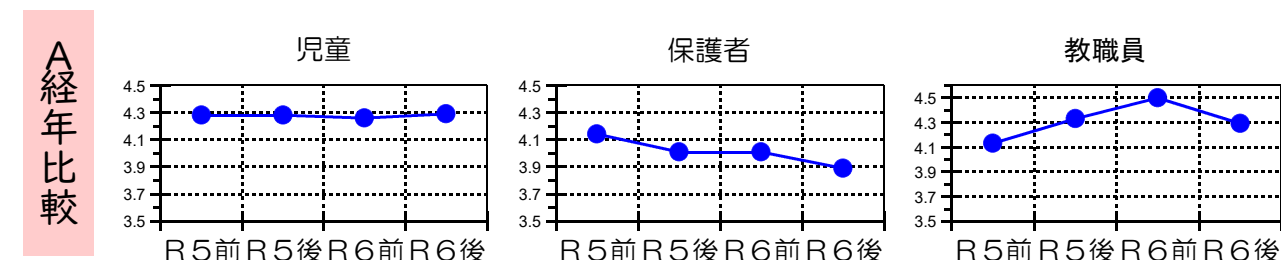
## 9 運動や健康、安全に関する指導



【児童】健康や安全に気をつけたり、体を使って遊んだり、運動したりしている。  
 【保護者】学校は運動や健康、安全に関する指導が適切に行われている。  
 【教職員】児童の実態を把握し、運動や健康・安全についての指導を適切に行っている。

【傾向】A経年比は、保護者と教職員がともに低くなっています。しかし、B総平均比は、児童も保護者も上回っています。  
 【対策】引き続き、授業を通じて運動の質を高め、量を確保する体育の授業改善に努めてまいります。また、安全面に関する指導についてもこれまでの成果を活かしながら、子ども達の安全・安心を最優先に、日常的な指導を継続してまいります。

## 10 安全指導と適切な生徒指導



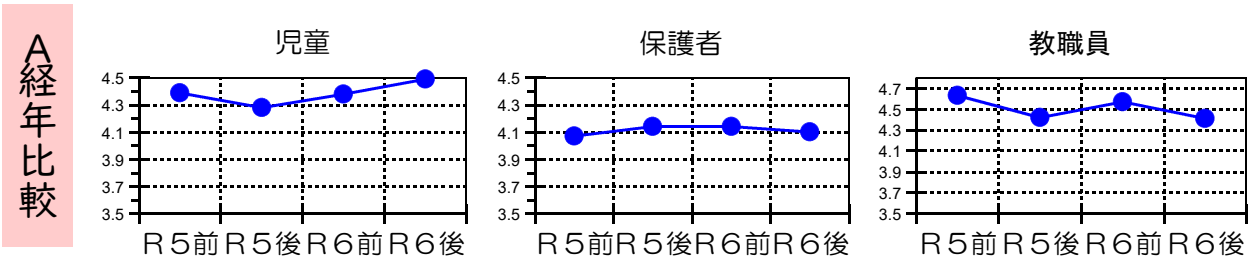
【児童】先生たちは、わたしの悩みなどを聞いて、相談にのってくれる。  
 【保護者】先生たちは、事故やけが、トラブルや悩みなどに適切な対応をしている。  
 【教職員】児童の事故やけが、トラブルや悩みなどに組織的で適切な対応をしている。

【傾向】A経年比は、児童が前回並みとなり、保護者と教職員の評価が低くなりました。大きく下回ってはいないものの、**三者ともに、B総平均比を下回りました。**  
 【対策】児童の質問については、「悩みがない」「相談がない」という児童が回答に困っていることがわかりました。次回の学校評価では評価内容について改善を図ります。大きな事故やけが、トラブルが比較的少なかったものの、引き続き適切な対応や相談に努めていく必要があると考えています。

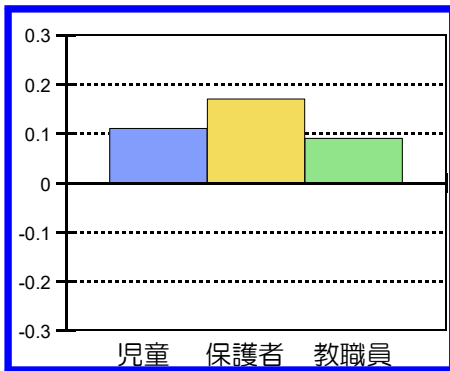


# 信頼される開かれた学校づくり

## 11 教育活動についての適度・適切・丁寧な情報発信



### B 各者総平均との比較



【児童】学級だより、学校だよりなどで、みんなや学校のことがよく伝わっている。

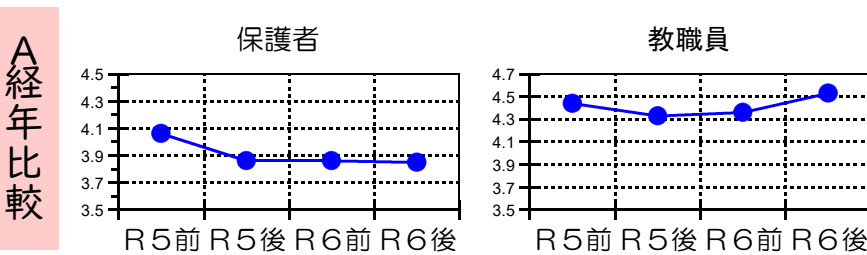
【保護者】学校は、学校便りやホームページ・学級通信などで教育目標や経営方針、教育活動の様子についてわかりやすく伝えている。

【教職員】学校は、学校便りやホームページ・学級通信などで教育目標や経営方針、教育活動の様子についてわかりやすく伝えている。

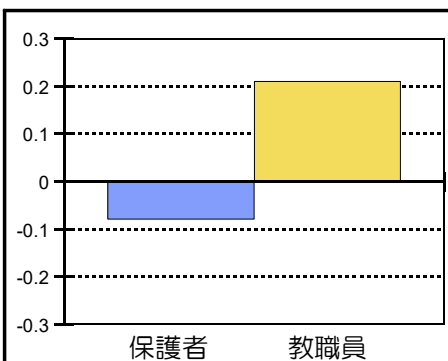
【傾向】A経年比は、**児童が確実な改善傾向**にあります。保護者に変化はなく、教職員はやや下がりました。しかし、数値としては高い傾向が継続しています。

【対策】学校便りや学級通信は写真やイラスト、児童の作品も多用し、興味関心を惹く内容にしています。今年度は特に学習(学力)を話題にする内容を増やし、学習活動への関心をもってもらえるよう工夫しました。引き続き、高評価を堅持できるよう発信の方法と内容の工夫改善に努めます。

## 12 教育内容や活動の公開と要望や意見の体制



### B 各者総平均との比較



【児童】質問項目なし

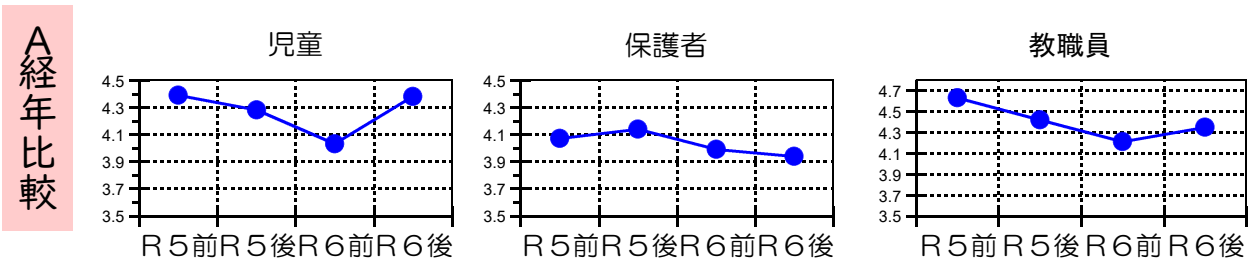
【保護者】学校は、教育内容や活動の様子を適切に公開し、要望や意見を受け入れる体制が出来ている。

【教職員】学校は、教育内容や活動の様子を適切に公開し、要望や意見を受け入れる体制ができています。

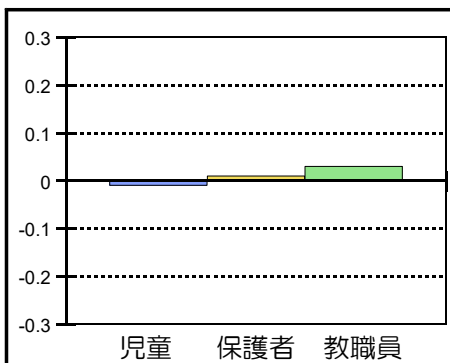
【傾向】A経年比は、保護者が下げ止まり傾向にあります。教職員は引き続き高評価となりました。

【対策】参観日の回数を減らしたり、学習発表会の発表内容を変更しましたが、B総平均比においては、保護者の評価が大きく下がることはありませんでした。様々なご意見やご要望があるとは思いますが、学校や担任に伝えづらい雰囲気を作りだしてはいないか、十分に気をつけながら、学校づくりに努めてまいります。

### 13 教育環境整備と安全確保



#### B各者総平均との比較

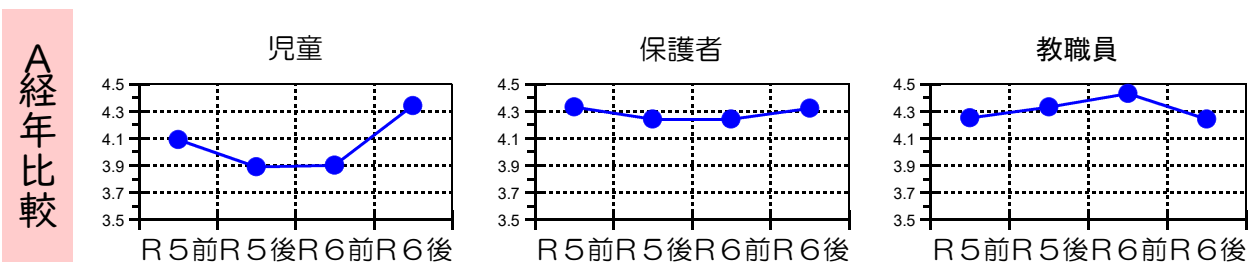


【児童】学校は、きれいで安全なところだと思う。  
 【保護者】学校は、教室環境や校内の環境整備、安全確保に配慮している。  
 【教職員】学校は、教室環境や校内の環境整備、安全確保に配慮している。

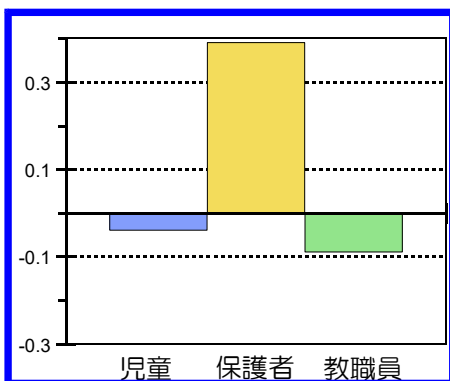
【傾向】A経年比は児童と教職員が改善しました。B総平均比は、3者ともに平均値となりました。

【対策】校舎の老朽化は否めませんが、その中でも、高評価を得ているのは、学校全体で教育環境整備に努めている成果でもあります。引き続き、児童の安全を最優先に事故やケガを起こさないよう目配りと気配り、見守りを続けてまいります。

### 14 安心して学び、安心して過ごせる場の提供



#### B各者総平均との比較



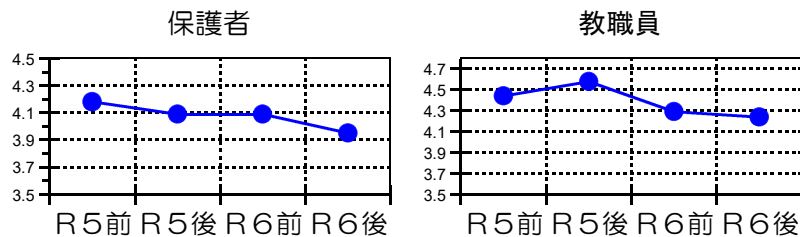
【児童】学校に行くのが楽しい。  
 【保護者】おさんは楽しく学校へ通っている。  
 【教職員】学校は児童が喜んで登校し、学べる場となるよう努めている。

【傾向】A経年比は**児童が著しく改善**し、教職員ががやや下がりました。今回の結果は、**保護者が著しく改善**しています。前回アンケートで、課題となった児童と保護者の差も大きく改善しました。

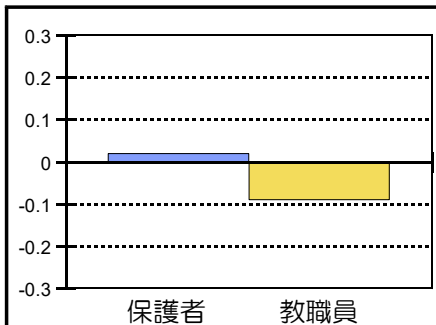
【対策】前回の結果をふまえ、楽しくない理由(学習、生活、友人関係、家庭)を検証し、アセスメントを活用して、原因を探り、対策を講じた結果があらわれました。児童によって、様々な理由を抱えていることから、引き続き、個に応じた指導、支援の充実と、環境整備を組織的に続けてまいります。

## 15 相談や要望、期待や信頼への適切な対応

A  
経年比較



### B 各者総平均との比較



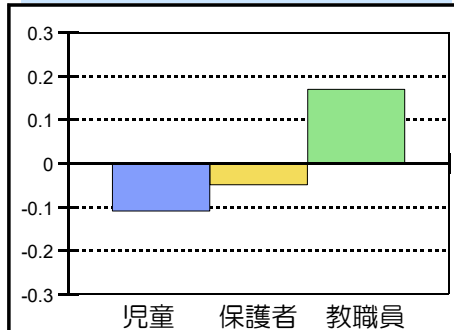
【児童】質問項目なし  
 【保護者】学校や先生たちは、保護者からの相談や要望には適切に対応するなど、期待と信頼に応えている。  
 【教職員】私たちは、教育公務員として自覚と責任を持ち（服務規律保持）、保護者からの期待と信頼に応えている。

【傾向】経年比は、保護者が下降傾向にあり、教職員もやや下がりました。今回の結果は、僅かな差はあるが、2者ともに平均的となりました。

【対策】期待と信頼に応えていると実感している保護者がやや減少しました。引き続き、児童が教育的愛情を感じられる丁寧なかかわり方や接し方を継続します。また、体罰や暴言を防止し、あらゆるコンプライアンスを遵守するよう学校全体で努めてまいります。

### グラフの説明

#### 各者総平均との比較



児童、保護者、教職員の評価にばらつきがあります。各者の評価を平均してみると、次の通り

児童4.39 保護者3.93 教職員4.32

となっており、保護者と教職員は0.39の差がある。単純に数値を比較するだけでは、特徴や傾向を掴み切れないことから、各者の評価の平均値との比較を行いました。平均より高いものは肯定的、低いものは否定的と捉えることができます。

±0.1以内は平均的と捉えられます。

## 16 自由記述欄

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| (1) 4月参観日後の学級懇談会についての要望    | 1件 |
| (2) 学校開放や少年団活動に関する意見       | 1件 |
| (3) クロムブックや宿題に関する意見        | 1件 |
| (4) クロムブック不具合発生時の対応についての要望 | 1件 |
| (5) 学習発表会の内容や劇についての意見      | 3件 |
| (6) 学習発表会の観覧方法についての意見      | 1件 |
| (7) 学級経営についての感謝や要望         | 2件 |
| (8) 運動会の観覧方法についての意見        | 1件 |

たくさんのご意見やご要望をいただきました。いただいたご意見やご要望は今後の教育活動の参考として活用させていただきます。